

一般質問

本定例会の12月1日から4日間にわたり、16人の議員が市政について45項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。なお、その他の質問項目については、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

稲城市立病院で「美味しい病院食」を推進することについて



村上 議員

問 「美味しい病院食」は病気やケガの回復に寄与することはもちろん、病院選びの一つの基準と捉えられる。市立病院の病院食を「美味しい病院食」として推進するための取り組みについて、病院食に対する考え方、認識は。

答 病院食を入院中の治療の一環と位置付け、栄養管理、病状回復および生活の質向上を支える重要な医療行為とし、病状や嚥下機能に合わせ提供している。また、病院食は心身の癒しを与える大事な要素と認識している。

問 病院食改善のために現在取り組んでいることについては。

答 入院患者満足度調査などによる意見収集、栄養管理委員会などにおける多職種との意見交換、旬の食材を取り入れた行事食・イベント食の実施、他院の好事例研究など、推進に向け、鋭意努力している。また、委託業者は献立作成から調理までの工夫や調理技能向上など、病院職員と連携しながら進めている。

問 献立の種類を増やすなど創意工夫を進めるとのことだが、成果を知ってもらうことも重要である。SNSで「今週の美味しいメニュー紹介」などの発信は効果的と考えるが、見解は。

答 現在、産科食をインスタグラムに掲載し紹介している。行事食や一般食などは院内デジタル掲示板や広報誌で紹介しているが、他院などを参考にSNSの活用を含め、効果的な情報発信について研究していく。

土地区画整理事業について



中島 議員

問 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業における、稲城長沼駅北側の今後の事業展開は。

答 北口駅前広場に隣接する街区整備のため、旧グルメシティ稲城店の周辺に埋設されている下水道幹線の移設を行い、周辺の建物移転などをお願いし、第五次稲城市長期総合計画の期間内である令和12年度までに、新たな土地利用を図ってもらえるよう取り組んでいきたい。

問 稲城長沼駅周辺地区の全体計画と第五次稲城市長期総合計画期間内である令和12年度までの事業の進め方については。

答 全体計画は、事業進捗に合わせ、施行期間を令和12年度から令和26年度に延伸するとともに、総事業費を約176億円から約183億円に見直しを行った。第五次稲城市長期総合計画の後期5か年の事業の進め方については、駅北側は前の問いのとおりで、駅南側は多3・4・14号稲城長沼駅前通り線と川崎街道との交差点の開放および駅前広場の整備に着手していく。

問 稲城若葉台駅東土地区画整理事業の現在の状況は。

答 令和4年5月に発起人会が立ち上がり、事業化に向けて検討を重ね、地権者対象の説明会の開催や仮同意書の取得などを経て、令和7年7月31日に土地区画整理組合設立準備会が結成された。現在は準備会と共に検討を進めていく事業協力者の募集・選定を進めていると聞いている。

安心して出産ができ、乳幼児を育てられる環境を目指して



湯谷 議員

問 男性の育児休暇取得率が高まる中、男子トイレにおむつ交換台を設置するなど、男性が子供のおむつを交換できる環境を整備すべきと考えるが、見解は。

答 男性の育児参加が進む現状を踏まえ、男性も利用しやすい環境整備の重要性を認識している。男性も利用しやすいバリアフリートイレを中心におむつ交換台を設置しているほか、一部の公共施設では男子トイレにもおむつ交換台を設置している。引き続き状況に応じ適切に対応していきたい。

問 現在、市立図書館ウェブサイトに授乳室やベビーベッドが設置されていることを示すバリアフリーマークが掲示されていない。バリアフリーマークを

答 掲示すべきと考えるが、見解は。

答 稲城市立図書館のバリアフリーの対応状況を示すマークの掲示は市ウェブサイト上の図書館施設案内に掲載しているが、市立図書館ウェブサイトにも掲示するよう、対応していく。

問 陣痛時に備え、移動手段の確保などについて市ウェブサイトで市民に掲示を行うべきと考えるが、見解は。

答 市では妊婦さん面接で、出産時の移動手段を含めた出産準備などを分かりやすくまとめた、いなぎ妊娠・出産セルフプランを用い、一人一人の状況に寄り添い、確認や情報提供を行っている。現在、このプランの見直しを行っており、改訂後、市ウェブサイトに掲載予定である。



▲中央文化センターホールの男子トイレに設置されているおむつ交換台

市が管理する公園・緑地について



川村 議員

問 公園・緑地のトイレについて臭いや汚れなどがひどいとの声があり、防犯上も改善が必要と考えるが、清掃の実施状況は。

答 指定管理者である公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団において、公園利用者が多い4月から9月は月・水・金の週3回、10月から3月は月・金の週2回実施している。

問 不審者に後をつけられた、露出狂が出たなど、トイレ付近で犯罪に繋がりがねない事が起きている。防犯カメラは抑止も含め必要であるが、それ以外にも、電灯を明るくするなどの改善はできる。何かあってからでは遅いので早急な確認と対応を求めるが、防犯対策については。

答 犯罪が起これにくい環境作りを基本とし、トイレの出入り口付近の見通しの確保や緊急警報装置の設置、過去に犯罪行為などがあった箇所への防犯カメラの設置を行っている。

問 洋式トイレは、子ども・妊婦・高齢者や身体の不自由な方にも利用しやすい設計である。衛生面ではフタの利用で感染症対策となり、災害時などの多様な状況に対応でき、「トイレ難民」問題の軽減も期待される。

答 和式便器40基、洋式便器27基。公園施設の老朽化などによる大規模修繕などの機会を捉え、トイレの洋式化を行う。

稲城南山東部地区における交通安全対策について



いそはら 議員

問 令和9年には、TOKYO GIANTSTOWNで水族館のオープンが予定されており、今後、稲城南山東部土地区画整理事業区域内の多3・4・16号稲城南多摩線では、さらなる交通量の増加が見込まれる。交通量の増加に対し、どのような安全対策を検討しているのか。

答 水族館のオープンにより、多3・4・16号稲城南多摩線に加えて、多3・4・12号読売ランド線でも交通量の増加が見込まれるため、歩行者と車両を分離する観点から、横断歩道橋の設置を予定している。また、今後の道路交通環境の変化や市民からの要望などを踏まえ、必要に応じて、信号機や横断歩道の設置について交通管理者である多摩中央警察署へ要望する。市としても横断防止柵の設置など、さらなる交通安全対策について検討を行う。

問 3月に多7・5・7号南山街路2号線が開通することにより交通量の増加が見込まれるため、南山小学校前の横断歩道では、児童の安全確保の観点から信号機の設置を検討する必要がある。更なる安全対策の検討は。

答 組合では、警視庁との協議を踏まえ、必要な施設の設置をしている。南山小学校前の横断歩道については、当初から信号機の設置を要望しており、2月には、市長自ら多摩中央警察署へ要望を行う予定である。今後も引き続き必要な安全対策について検討を行う。